

問 予算書に基づき高島市の主要な公共施設を訪問し、今日の運営、取り組みについて認識を新たにしながら、それぞれ莫大な投資をし、市民に役立っているとの理解と反面行政府はサービスという言葉が使われるが、運営面で大変であると感じた。市長は環の郷政策を発表されておおいに期待するものである。地域社会地域経済の発表こそが明日の高島市の発展であると感じる。合併協議会の確約

高島市の明日の財務を問う



宮川 佳衛 議員

から高島市新庁舎の建設公立高島病院の建設と夢多いプランを発表されたが、今日の高島市の財務力に似合った財政計画財務政策を願うものである。高島市民今日のマーケットの状況を十分把握の上、市政を担当願いたい。

答 市長 提唱している「環の郷」計画は、ハード事業を意味するものではなく市の中の仕組みを大切につなぎ直すことを目指すものであります。色々な面で地元志向の考え方で、お互いが助け合って回る仕組みを目指します。合併直後の事情もあり、少し時間が必要ですが、情報公開を徹底し、市民と一緒に創りあげていきたいと考えています。



答 総務部長

景気の低迷による税収の伸び悩みや国の三位一体の改革により、市の財政は非常に厳しい状況です。こうした中、市の安定的な発展成長を目指すためには、中長期的な財政健全化対策に取り組む必要があり、近く高島市経済財政諮問会議を設置し、財政再建策の検討を始めます。

問 ①環の郷たかしまという言葉を初めて聞く市民は多い。市長が考えておられる「環の郷」とは、どのような郷なのか。都会の人たちの価値観や効率、便利、快適一辺倒の生活ではなく、スローの側からものを見、自然に合わせる生活や、不便を楽しむようにしてもらうと言われる「まち」高島の完成目標は、何年後に定めている

琵琶湖の環境を良くするために



保木 利一 議員



安曇川河口 (ヤナ場)

②環境こだわり農業はどの程度行われているのか、面積、農家数、比率を示すとともに、今後の推進計画は。
③田用水の循環利用されている場所は何方所あり、利用面積はどの程度か。あわせて今後の推進計画を示してほしい。

答 企画部長

環の郷とは、高島市の豊かな自然環境や地域資源を生かし、自然の摂理に沿った循環型の環境・農林漁業・観光・文化等について、有機的かつ連動的な施策展開等を図ることにより人と自然との良き関係を再生する中で、魅力と活力に溢れた地域づくりを目指す終りなき継続した取り組みであろうと存じます。

答 産業経済部長

昨年度から全国で始めて直接支払い制度を創設するなど、環境こだわり農業を強力に推進しています。高島市の水田に占める割合は約5%で、まだまだ少ないのが現状です。田用水の循環利用ですが、琵琶湖から逆水している今津東部、鴨川流域土地改良区において、施設の構造が反復利用できるようなっています。